

## 認知症に関する 正しい知識と治療・ケア

### ◇ 『認知症とともに』

#### あたりまえに生きていく』

矢吹知之、丹野智文、石原哲郎／編著

中央法規出版

認知症当事者、医師、支援者ら計9名の執筆者が自らの経験・実践をもとに、すべての人が認知症とともに当たり前で生きられる社会に向けて問う。

### ◇ 『おひとりさまの認知症』

高瀬義昌／監修

主婦の友社

おひとりさまで認知症になったらどうしますか？ひとりでもおだやかな暮らしを続けられるために今からできる準備やサポート制度、医療情報などを紹介。

## 家族で支える

### ◇ 『父と娘の認知症日記』

長谷川和夫、南高まり／著 中央法規出版

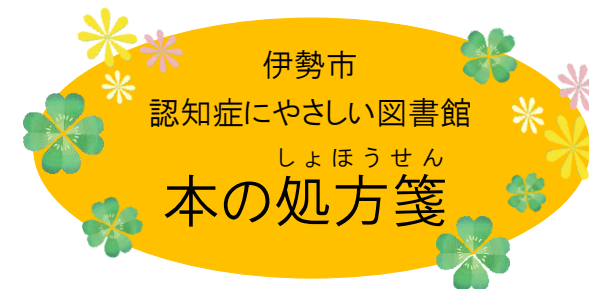
家族が認知症になったとき、どう向き合うか。昨年11月に亡くなった認知症治療の第一人者・長谷川和夫氏の娘まりさんが、父の半生と認知症と診断されてからの父との4年間の日々を綴る。

### ◇ 『認知症になった蛭子さん』

蛭子能収／著

光文社

漫画家でタレントの蛭子さんが認知症になった。家族はどうなる？仕事はどうする？社会はどう受け入れる？妻の悠加さんの介護相談から蛭子さんの人生相談まで、読むと心がちょこっと軽くなる？



Vol.7 2022年2月1日発行

※紹介している本は、伊勢図書館  
または小俣図書館で貸出ができます。  
貸出中の場合は予約ができます。

## マンガ

### ◇ 『ねぼけノート』

あさとひわ／著

朝日新聞出版

イラストレーターの著者がレビー小体型認知症と診断された父の無邪気な言動を描いた「観察ノート」。クスッと笑えたり、しみじみとせつなくなったり、ほのぼのとした日常の中でもふと考えさせられる1冊。